



かたぐい



令和4年度
第50号

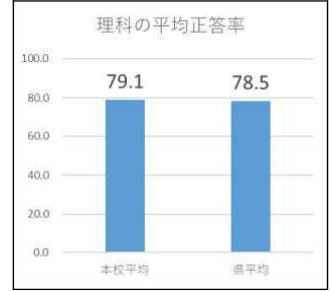
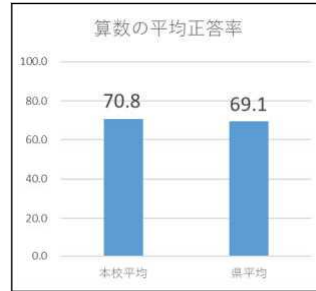
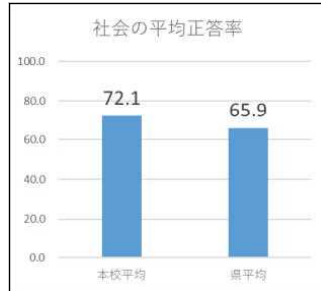
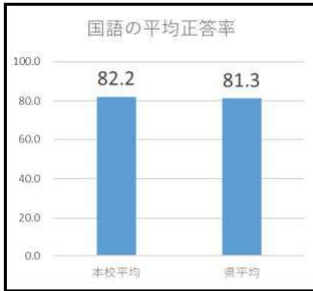
2023.2.15

学校教育目標

夢ふくらませ 心かがやく

「県学習状況調査結果について」

※ グラフは、各教科における4・5・6年の平均（社会のみ5・6年の平均）



- 実施期日 令和4年12月1日（木）
- 実施目的 児童生徒の学力維持向上及び学習状況の把握
- 実施学年 4年生・5年生・6年生
- 実施教科 国語 社会（5・6年） 算数 理科
- 調査内容 ①教科に関する調査 ②生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査

・国語については、県平均を上回った学年が1つ。他の2つの学年は、ほぼ県平均並みでした。どの学習内容も定着状況は概ね良好といえます。さらに力を伸ばしていくためには、昨年度と同様に「読む力」がポイントになります。目的に合わせた読み取りをするために、授業の中での対話を、さらに進めていきたいと思ひます。

・社会については、県平均を上回った学年が1つ。ほぼ県平均並みの学年が1つでした。定着状況は概ね良好といえますが、5・6年ともに「資料からの読み取り」に課題が見られました。読み取ったことを自分の言葉で表現するという対話のための基本をしっかりと押さえていきたいと思ひます。

・算数では、県の平均を2つの学年が上回りましたが、1つの学年が県平均を下回っています。全体としては学習内容の定着状況は概ね良好といえ、じっくり考えて答えを出していることがわかります。ただし、計算力に課題が見られました。小数のかけ算やわり算の筆算、分数の引き算でミスが多く見られました。もう1度、計算の基礎基本を確認していきます。

・理科については、県平均を上回った学年が1つ。他の2つの学年は、ほぼ県平均並みでした。どの学年も学習内容の定着状況は概ね良好といえます。授業の中で、予想と結果のつながり、結果からの考察について対話を通して見直す活動を取り入れてきた結果であると思ひます。

・昨年度に比べて、全体的に着実に力が上がっていると思ひます。授業において、対話を通して考えを深めていることが、力の向上につながっていると思ひます。今後は、資料や事象、問題からの「個の読み取り」と対話を通して「他者とのかわり」を授業の中で組み合わせながら、より思考力を高め、実力アップにつなげていくことができるように、日常の授業を進めていきたいと思ひます。

・どの学年、どの子どもにも、それぞれに課題があります。年度末まで、その点をしっかりとフォローアップしていきます。

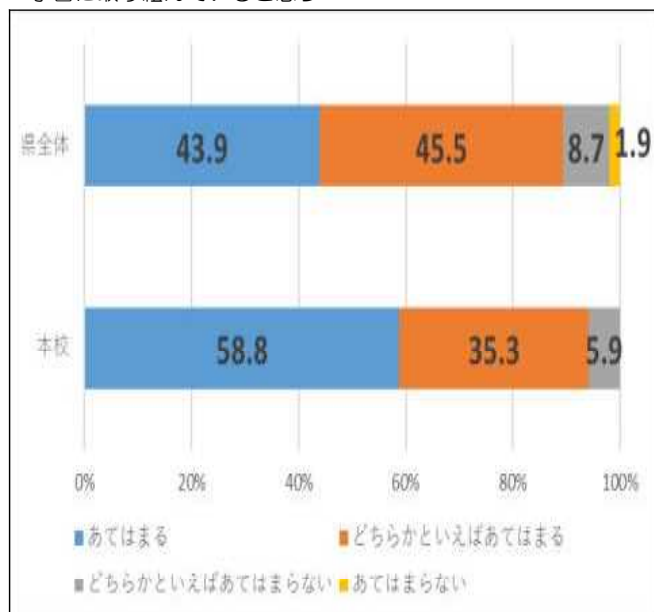
○4～6年は、県学習状況調査・CRT（標準学力検査）の個人票を配布します。

○1～3年は、CRTの個人票を配布します。

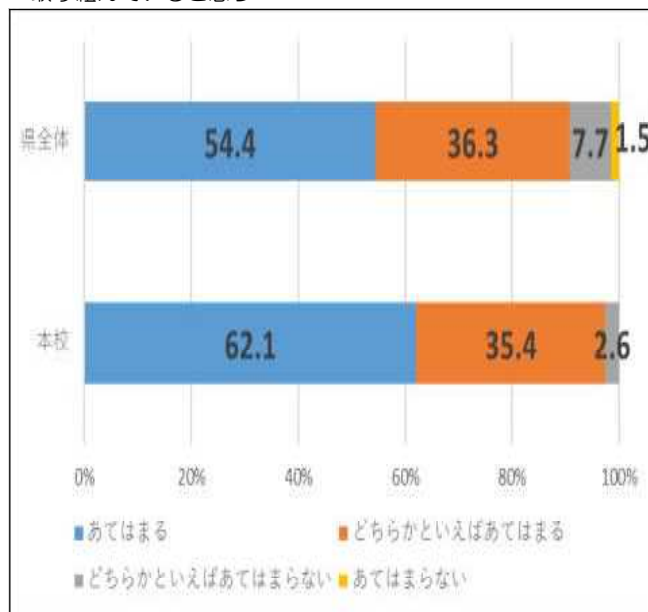
○CRTの結果については、学年通信をご覧ください。

※ グラフは、学習習慣等に関する質問紙における4・5・6年の平均

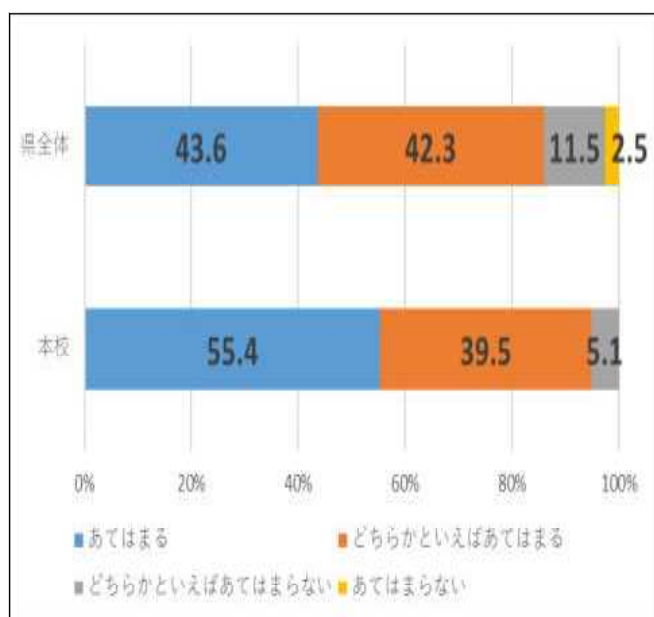
○ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を意識して学習に取り組んでいると思う



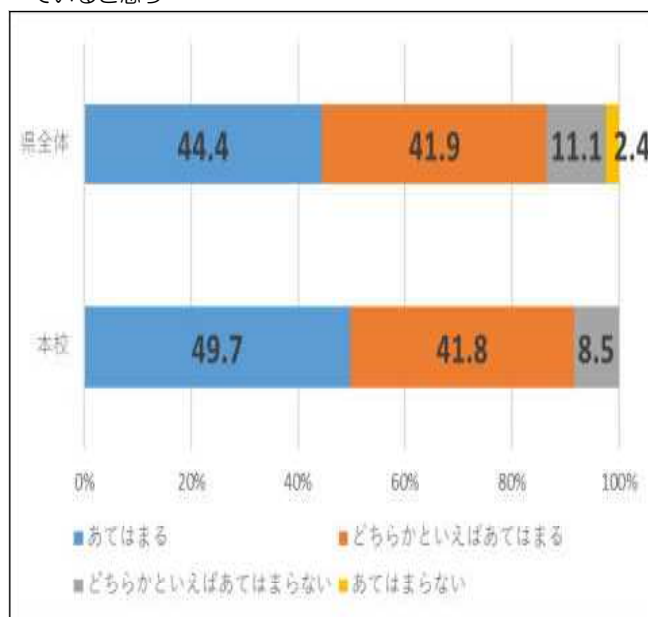
○ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う



○ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う



○ふだんの授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う



・本校では、共に学び、自らを高める「くりっこ」を目指して、普段の授業で、「子どもたちが見通しをもって学習を進めることができるようなめあてや課題、問題の設定」「よりよい考えを見いだすための子ども同士の対話や交流」「成長を実感したり、他者を認めたり（他者から認められたり）、わからないことを明確にしたりして新たな学びにつなげるふり返し」を共通実践事項として取り組んできました。上記4項目の質問に対する子どもたちの回答結果が全て県平均を上回っていることから、本校の授業では、「めあての設定」「対話」「ふり返し」が行われ、子どもたちも、それを意識して授業に取り組んでいることがわかります。今後も、この授業スタイルを継続するとともに、子どもたち一人一人が自分の考えや立場を明確にするための自力思考や自力解決のための時間を、しっかりと確保していきます。